

南小だより

minamiurawa-e@saitama-city.ed.jp

令和3年7月1日

7月号

さいたま市立南浦和小学校
電話 048-861-3781



地域とともに

校長 小野 圭司

子どもたちが持参している水筒の中で氷がカラカラと鳴る音が、蒸し暑い夏を少し涼しく感じさせてくれています。

さて、私が毎朝、交通安全指導をされていて感じていることです。その時に会う方へ挨拶をすると、ほぼ100%「おはようございます」という声が返ってきます。私が地元で朝、声を掛けられたら果たしてきちんと挨拶を返すことができるか不安になりました。安全ベストを着用していたとしても見ず知らず人から挨拶をされた時に、恥ずかしさや気まずさから声を返せるかどうか。しかし、この地域の皆様からは声が返ってきます。南小の子どもたちと同様に、この地域の印象は「落ち着いている」です。こういうことから地域の実力を感じています。

では、本校の子どもたちはどうでしょうか。コロナ禍であることが正しい判断をする障害となっています。マスクを着けているために元気な挨拶を控えているのかも知れないということです。現状では、子どもたちは適度な大きさの声で挨拶をしたり会釈をしたり、またマスクで口元が隠れてはいますが目元だけで笑顔を作ったりしているように思います。もしかすると、登校時に元気な挨拶が少なくなり残念に思われている保護者・地域の皆様もいらっしゃるかも知れませんが、子どもたちなりの工夫でコミュニケーションをとっている様子を見つけていただければ幸いです。

また、6月24日（木）には今年度第1回の学校評議員会・学校関係者評価委員会を開催いたしました。保護者の皆様を含めた地域の皆様と学校の教育活動について協議する中で、本校のよさや課題等についてご意見をいただきました。例えば、「どのクラスも落ち着いていたし、先生たちが子どもたちとよく向き合っていました。」「硬筆の作品がとても素晴らしかったです。」「先生たちが感染症予防やタブレットを活用した指導など、大変そうでした。ぜひ、がんばってほしい。」などです。私は4月に着任したばかりで率直なご意見をいただく機会がありませんでしたので、大変ありがたく感じるとともに励みになりました。このご意見等を踏まえ、この南浦和小学校をさらによい学校にしていくため、改めて気を引き締めてまいります。

さいたま市では、令和4年度には市立学校全校で「コミュニティ・スクール」を実施することになっています。本校も今年度、準備委員会を立ち上げ、来年度の実施に向けて準備を始めます。この「コミュニティ・スクール」は、「地域とともにある学校」を目指していますので、これまで以上に地域のお力をお借りしながら学校運営を進めてまいりたいと考えております。どうぞご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。